

シェアハウスがそれとモブキャスト「ワグネル」
いえ、作るのは聞かれたけど、現場は「ワグネル」
玉村町の女子大生、朝たんと「秘密基地建設計画」発起中

多、群馬の元気の女性に会いたい!



屋上いっけ
安まる玉村町が
一望できます!



お宅にやまな
手作り新聞
勝手に発行
しています



改修中の
シェアルームです



町の支援者へ方も交
作戦会議中!



図解で分かる
「たむろ荘」



「たむろ荘」発起人
本田 美咲 (現群馬県山田市長) 氏
秋山 恵璃 (現群馬県沼田市長) 氏

玉村町の古い空き物件をSNSのクラウドファンディングで集めた資金で買い取り、改修してシェアハウス兼ゲストハウスを作る。そんな活動に奮闘している現立女子大学の学生たちが話題になっている。今何故、現役の大学生がシェアハウスを玉村町で始めようとしているのか。「たむろ荘」と名付けられた改修中の建物を訪ね、発起人の一人、本田美咲さんに彼女たちの目指すところを聞いた。

自分を取り巻く「居場所」から抜け出すために動く
シェアハウスというワードで思い浮かぶのは、有名人の自宅や改修中、今までのシェアハウスと比べてもかなり新しい物件です。私たちが目指しているのは、大学で成功した人たちが、二年が過ぎたころには、一人暮らしという暮らし方を考えるようになる。大学はもう卒業するのだから、一方で就職に向けてのスキルアップが急務だと感じました。大学はもう卒業するのだから、一方で就職に向けてのスキルアップが急務だと感じました。大学はもう卒業するのだから、一方で就職に向けてのスキルアップが急務だと感じました。

理想の完成イメージに向け地道な改修作業がつつく
玉村町の街並み、かつてのメイン通りにある築40年の2階建ての空き物件を見つけ、今年の夏に買い取りました。「たむろ荘」の完成イメージはワンフロアの1階がイベントスペース、2階がシェアルームとゲストルームです。具体的には2階が私たちが生活する部屋とゲストが宿泊する客室。1階が学生と地域の人を中心に、集う人たちがやりたいこと、面白がることを共に

作り出す場となります。それは演劇会であったり演劇の発表会、自主映画の上映会、フリーマーケット、カフェ、交際広場などから、ただまったりと飲み食いするだけのイベントなど、何をしてもOKなスペースになることを目指します。そんな理想の完成図に向けて改修中ですが、二重窓の付いた物件なので、屋根や壁、水廻りの改修作業に手廻し時間がかかってしまっています。地域の方やSNSでの呼びかけに応じて手廻り作業が少しずつ完成に向けて作業を進めている現状です。

多様な生き方を模索できる「なんでもない場所」に
玉村町は高橋、前橋、伊勢崎に隣接した小さな町です。でも、家賃が安い地域で何かをやろうと発案すれば色々なイベントができるし、いろんな生き方を探そうとすることができます。都会でもない、大自然に囲まれた村でもない玉村町だからこそ従来の「町おこし」や「地域活性化」とは別、資源や物に頼らないアイデアやセンス重視の試みができると思っています。私たちはこの町の中で様々な生活スタイルや考えに出会い「働くことの意味を再考することなく働くことが自己目的化した社会」や「同世代の若い生活環境と人間関係、を見直し、毎日面白おかしく過ごしながら、時にはだらだらと寝る生活に満足して、多様な生き方を模索できる交流の場、そんなみんなの秘密基地となる「たむろ荘」を作り上げたいです。

「たむろ荘」は来春オープン予定!
「たむろ荘」は支援してくれる人たちが改修を進め、来春にはオープンさせたいと考えています。何でもない場所でありながら大切な交流の場「たむろ荘」から新しいコミュニティの可能性を感じていただけるように。そして、「たむろ荘」をきっかけに全国のいろんな町で面白くて開かれた交流の場が広がればと思います。面白くもなり、自分の住む町が面白くなった方がいいという思いがあります。もちろん私は、大学卒業後も「たむろ荘」を拠点に、地域で活動していきたいと考えています。

「たむろ荘」(本田さん、秋山さん)がD'ステーションを訪問。
店内の設備や防災備蓄品を見学されました。



「たむろ荘」を一緒に作りませんか?
建物の改修作業をお手伝いしてくれる方を募集中!

Twitter @blue05410n
Facebook fb.com/222327634767952
Mail blue05410n@gmail.com

ツイッター・フェイスブックから情報発信